



はじめに

大野市は、四方をぐるりと美しい山々に囲まれ、清らかな水と空気に恵まれた自然豊かなまちです。人々は、人と人のつながりや助け合いを大切にする「結の心」と、積極的に新しい物事に取り組む「進取の気象」の精神で、先人から受け継いだ歴史や文化、伝統を今日まで伝えてきました。



今、私たちは、急速に進行する人口減少と少子化・高齢化、気候変動や多発する自然災害、新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな脅威など、多くの困難に直面しています。

一方、現在進められている、中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線福井・敦賀開業などの高速交通ネットワークの整備は、大野市にとって絶好の飛躍の機会となります。

このような課題や変化に対応し、今後のまちづくりの目標と方向を示すため、たくさんの方々にご参加いただき、議論を重ねながら、皆さまと一緒に手作りづくりあげたのが、この第六次大野市総合計画です。

新しい総合計画では、SDGsの考えを取り入れ、10年後のまちの将来像を「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」と決めました。

市民や団体、企業の皆さまが身近なところから取り組める「みんなができること」も新たに設けています。

さあ、第六次大野市総合計画が動き出します。

将来像の実現に向け、本計画を力強く推進していきますので、私たち一人一人ができることを考え、実践し、その輪を広げ、一緒に未来の大野市をつくっていきましょう。

最後に、本計画の策定に際し御尽力をいただきました大野市総合計画審議会と策定幹事会の委員の皆さま、さまざまな機会を通して貴重な意見や提言をお寄せいただいた市民の皆さまや関係各位に心より感謝申し上げます。

令和3年2月

大野市長

石山志保